

## 低コストな監視カメラによる河川監視

～設備計画・情報共有の観点から計画を策定します～

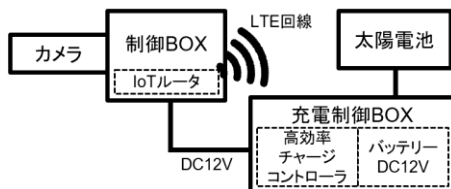
近年の豪雨、台風被害を受け、カメラ画像をリアルタイムに確認し、従来の水位情報だけでは得られない「切迫感」の共有を実現し、円滑な避難・減災に結びつけることが期待されています。

当社はコストを抑えた簡易型河川監視カメラの開発を行い、その適切な設備計画の立案、円滑な避難・減災に資する情報共有を併せた計画の策定を行います。

## 低コストなカメラを活用した、河川監視ソリューションのご提案

## 設備計画の立案

## ①設置目的・設置条件に適したカメラ配置計画の検討

②カメラ構成の検討  
(カメラ機能・電源・通信方式)

カメラ構成検討例



(赤外線照明なし)

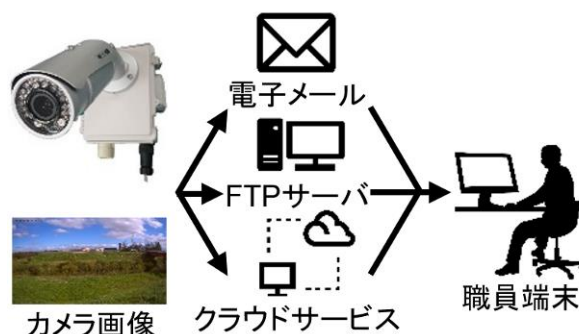


(赤外線照明あり)

赤外線照明適用例

## 情報共有計画の立案

## ①適切な通信経路と画像蓄積・共有の計画検討

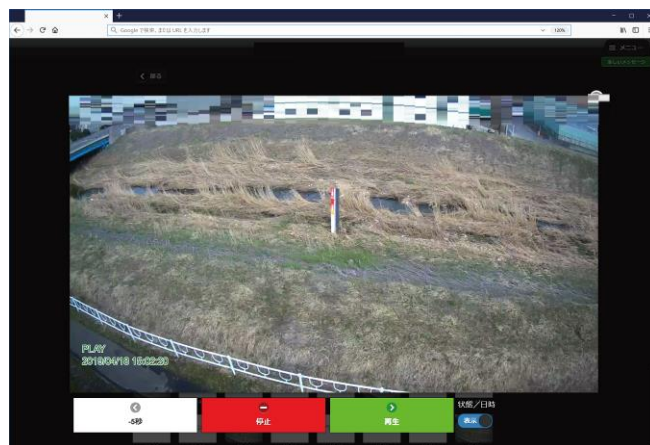


カメラ画像

クラウドサービス

職員端末

要求機能や費用に応じて、既設サーバ設備の活用やクラウドサービスの活用等を検討し計画を策定します。



クラウドサービスを利用した画像共有例

カメラ映像によって、従来の測定値で得ることが困難であった氾濫の恐れを視覚的に、迅速に把握することが可能になります。しかし、従来の河川監視カメラは高額であり、カメラの設置台数に限りがありました。そこで、河川流域にカメラを数多く配置することを可能にする、コストを抑えた簡易型監視カメラの活用によって、刻一刻と変化する河川の状況をリアルタイムに把握し、危険が迫った時の関係者の初動体制を迅速に構築することや、流域住民の円滑な避難の呼びかけに結び付けることをサポートします。

河川の「今」をダイレクトに伝える

# 簡易型河川監視カメラ



**特徴・共通機能**

低コスト設計で  
複数台導入が容易

夜間・暗所の監視に  
赤外線照明を標準装備

クラウドサービスの利用で  
サーバ機器費・保守費を削減  
スマートフォンから河川監視  
※クラウドサービス利用料別途

**多様な設置条件に対応する  
ラインナップ**

**①有線式カメラ**

既設電源・通信線の利用で  
工事費・月額通信費を削減

**②無線式カメラ**

電源・通信線の確保が困難な  
場所にも設置可能  
※LTEエリア内にて・通信費別途

**③無線通信式カメラ**

通信線が無い場所でも  
電源接続だけで動作を開始  
※LTEエリア内にて・通信費別途

空中線柱設置状態

カメラ本体寸法イメージ

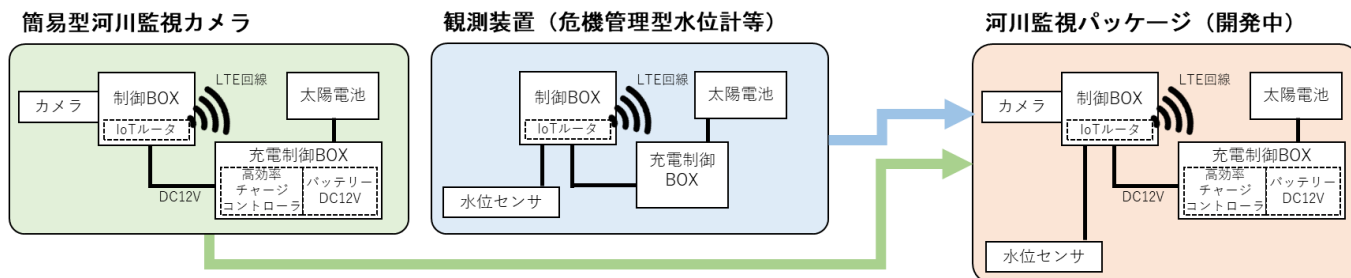
**主要諸元**

- 重量：約2Kg
- 広視野角：水平画角100°
- 最低被写体照度：0.5ルクス
- 夜間は赤外線照明が自動点灯し撮影します
- 画質：HD画質以上（フルHD画質も可能）

株式会社建設技術研究所と株式会社エースプロモーションは国土交通省の「革新的河川技術プロジェクト（第三弾）」に共同提案グループとして参加。簡易型河川監視カメラの設計・製造を行い、北海道札幌市・埼玉県加須市で実証試験を実施。試験結果を報告しました。

## パッケージ化によるコスト低減

他の観測機器をパッケージ化し、電源・通信機能の重複を解消する開発を行っています。



河川監視設備をパッケージ化することで、通信費・保守費を低減します。

**業務実績**

革新的河川技術プロジェクト（第三弾）オープンイノベーション型（異分野連携型）技術開発  
国土交通省  
北海道における冬季実証実験（2018年11月より継続中）

お問い合わせ先及び技術担当